

外転神経麻痺の原因と手術効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(平成 30 年 2 月 7 日) ~ 平成 31 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

外転神経麻痺の原因と術式および術後経過による矯正効果の評価

〔研究目的〕

当院で手術施行した外転神経麻痺症例の原因疾患を調べることによって、外転神経麻痺での悪性、緊急疾患割合の同定すること、また各術式での矯正効果を調べることが目的です。

〔研究意義〕

外転神経麻痺の原因には頭蓋内腫瘍などの緊急疾患が原因であることがあり、緊急疾患の頻度を調べることにより、外来診察に役立てられることが考えられます。また、手術での矯正効果を調べることにより手術手技に役立てられることが考えられます。

〔対象・研究方法〕

当院にて 2009 年 5 月から 9 月の間に、外転神経麻痺の手術を受け、術前、術後 3 ヶ月、術後 1 年での斜視角を大型弱視鏡で測定された方々です。カルテより過去のデータを検索使用します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部眼科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人の検査データは、それぞれ抽出する段階で匿名化。抽出したデータに関しては研究責任者にて管理します。研究終了後にデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、TARC にて 10 年保管の後に廃棄します。

追加検査などは必要としません。謝金等は発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学眼科学講座 臨床助手 越智正登

研究分担者: 主任教授 溝田 淳、兼担准教授 林 孝雄、病院准教授 渡邊 恵美子、助教 太根 ゆさ

住所: 東京都 板橋区 加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 32626]